



私の 本棚より



～ハチャトゥリアン&アレクセイ・ショールの作品～

organized by the European Foundation for Support of Culture

指揮 柳澤 寿男

ピアノ 加藤 大樹

管弦楽 イルミナートフィルハーモニーオーケストラ

アレクセイ・ショール(1970-)：“FROM MY BOOKSHELF”「私の本棚より」※日本初演

ヴァルタン・アジェミアン(1956-)：祝典序曲

アラム・イリイチ・ハチャトゥリアン(1903-1978)：

《スパルタクス》より「フリギアとスパルタクスのアダージョ」

「エギナのヴァリエーションとバックス祭」

エドヴァルド・ミルゾヤン(1921-2012)：ワルツ



【アーティスティック・アドバイザー】
セルゲイ・シンバチアン

2021 5.14 (金) 18:30開演(17:45開場) 紀尾井ホール 東京都千代田区紀尾井町6番5号

会場アクセス ●四ツ谷駅(JR線・丸の内線・南北線) 麹町口徒歩6分 ●麹町駅 2番出口(有楽町線) 徒歩8分 ●赤坂見附駅 D出口(銀座線・丸の内線) 徒歩8分 ●永田町駅 7番出口(半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分

チケット&プレイガイド | 3,000円(全席指定・税込) チケットぴあ <https://t.pia.jp/> 0570-02-9999(Pコード: 196-093)

お申込み・お問合せ | パシフィック・コンサート・マネジメント 03-3552-3831 <http://www.pacific-concert.co.jp/>
(平日 10:00～17:00)

主催: Renaissance Classics 公演実行委員会

後援: 在日アルメニア大使館 / 在日マルタ大使館 / organized by the European Foundation for Support of Culture (アーティスティック・アドバイザー: セルゲイ・シンバチアン)

コミタス記念日本アルメニア協会(コミタス・ソサエティ)

企画制作: オフィスTEN / パシフィック・コンサート・マネジメント / Renaissance Classics

公式HP <http://www.classics-festival.com/rc/>

※本公演は全席の約50%配席を使用するソーシャルディスタンス対応席で実施致します。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みにつきましては、公式HPをご確認ください。

※曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



2021年5月、『私の本棚より』〜ハチャトゥリアン&アレクセイ・ショールの作品〜と題したヨーロッパ文化支援財団(EUFSC)による日本公演が実現する。2019年に引き続き、2回目となる日本公演。注目の舞台には、世界の舞台で活躍するイルミナートフィルハーモニーオーケストラが出演。(2019年、EUFSCより指名され日本初演4公演を成功に導いた西本智実が芸術監督を担う管弦楽団)指揮は柳澤寿男、ピアノは加藤大樹。アレクセイ・ショールの日本初演作品他、ハチャトゥリアン他の名曲を選曲、国内外の名手たちによって演奏する。

柳澤 寿男[指揮] Toshio Yanagisawa, Conductor

旧ユーゴを中心に活動。2007年までマケドニア国立歌劇場首席指揮者。同年コソボ・フィル首席指揮者就任。ベオグラード国立歌劇場、セルビア国立放送響、サラエボ・フィル、アルバニア国立放送響、プラハ響、サンクトペテルブルク響などに客演。2007年、バルカン半島の民族共栄を願いバルカン室内管弦楽団を設立、音楽監督を務める。2010年にはニューヨーク国連総会のバルカン・リーダーズ・サミットに招聘された。2011年、ウィーン楽友協会ホールで公演。同年、国連開発計画アルバニアとともにロマ民族の子供たちと開催したコンサートが歴史的公演となった。日本では新日本フィル、日本フィル、東京フィル、都響、東響、東京シティ・フィル、札幌響、仙台フィル、群響、名フィル、アンサンブル金沢、京響、大阪フィル、関西フィル、兵庫芸文センター管、九響などに客演。ベオグラード・シンフォニエッタ名誉首席指揮者、京都フィルハーモニー室内合奏団ミュージックパートナー。



加藤 大樹[ピアノ] Daiki Kato, Pianist

第7回東京音楽コンクール審査員満場一致の第1位&聴衆賞、第9回パデレフスキ国際ピアノコンクール第3位&ピドゴシュチ市長特別賞(古典ソナタ最優秀演奏賞)、第17回浜松国際ピアノアカデミーコンクール第1位をはじめ多数受賞。これまでに、小林研一郎、大友直人、飯森範親、梅田俊明、小泉和裕、円光寺雅彦らのタクトで、都響、東響、日本フィル、新日本フィル、東京シティ・フィル、東京ニューシティ管、神奈川フィル、札幌響、広島響、セントラル愛知、パデレフスキ・フィル、スデッカ・フィル等と共演、国内外で演奏活動を行う。現在、ミュンヘン音楽大学でアンティ・シーララおよびエイドリアン・エティカーに師事。公式ホームページ daikikato.com



イルミナートフィルハーモニーオーケストラ IlluminArt Philharmonic Orchestra

【ヴァチカン国際音楽祭名誉パートナーオーケストラ】

芸術監督西本智実により結成。新作初演、国境を超える活動に世界の注目が高まっている。2013年アジアのオケ史上初めてヴァチカンで演奏、以降ウィーンフィルと共にメインオーケストラとして招聘されており、【ローマ教皇代理ミサ】はヴァチカン放送より約35ヶ国中継されている。2018年には中国へも進出、招聘8公演を成功させる。2019年ヨーロッパ文化支援財団(EUFSC)より日本初演ツアーのオーケストラに指名に続き、2021年日本ツアー演奏も務める。アジア諸国の委嘱作品世界初演等、アジア文化を世界に発信するなど、幅広い活動をしている。TVやCMにも出演多数。



©新井秀幸

アレクセイ・ショール[作曲家] Alexey Shor, Composer

現代を代表する作曲家。1970年キエフ生まれ。1991年にイスラエルへ移住し、現在はアメリカに活動の拠点を置く。ショールの作品はマルタ・アルゲリッチ、マキシム・ヴェンゲーロフ、シュロモ・ミンツ、ニコライ・ズナイダー、ワディム・レービン、アンドレイ・イオニーツァ、アンドレアス・オッテンザマーといった名だたる演奏家によって演奏され、ウィーン・ムジークフェライン、ベルリン・フィルハーモニー、カーネギー・ホールをはじめ世界の主要ホールで披露されている。録音はワーナー・クラシックス、デッカ、ソニー・クラシカル等から、楽譜はブライトコプフとユルゲンソンから出版。マルタ国際音楽祭のコンポーザー・イン・レジデンスを務める。

